

令和4年度 第1回市立公民館運営審議会 会議録

- ・日 時 令和4年7月27日（水）午前9時30分～午前11時30分
- ・場 所 市民交流プラザ 市民交流スペース
- ・参加者 福知山市立公民館運営審議会委員15名
福知山市教育委員会教育長
事務局：中央公民館長、各地域公民館長 中央公民館次長補佐
- ・傍聴者 なし

○開会

委嘱状交付 福知山市教育委員会教育長より委嘱状交付（別添資料P1）

挨拶 福知山市教育委員会教育長

委員及び職員紹介 所属、氏名について順に自己紹介

委員長・副委員長の選出 委員の互選により

委員長 濱 友啓 委員

副委員長 大槻 紘 委員 に決定

○議事

- 1 審議会について（報告） 別添資料P2～4により事務局説明
- 2 令和4年度市立公民館の事業等について
 - ・令和4年度市立公民館の活動の重点（別添資料P5）確認
 - ・令和4年度事業取組の重点について、事業の概要及び特徴的な事業等について各公民館長より説明（別添資料P6～P15）
- 3 その他
 - ・今年度の大きな動きについて報告を行う。
 - ・地域住民センター化について
地域が抱える課題やニーズが多様化・複雑化する中、福知山市自治基本条例の理念に基づく協働のまちづくりを推進するため、令和4年3月に福知山市地域住民センター条例が制定された。条例制定と併せて北陵地域住民センターが設置され、社会教育施設としての地域公民館の役割の他に地域コミュニティの活動の拠点として地域住民センターの運営が始まった。
 - ・生涯学習講座（特別枠）について
コロナ禍での公民館活動や人材不足などの課題解決に向けて、地域住民の主体的な地域づくりや学習活動の大切さを地域の住民に伝えていくために「まちづくり構想 福知山」を具現化することを目的として、生涯学習講座（特別枠）

「まちづくり担い手育成講座」、「防災講座」等を全館共通で実施を計画している。

・午前中開館について

地域公民館・地域体育館の全ての開館開始時間を午後から午前に変更し、生涯学習講座の充実を図る等、利用機会拡大による施設の有効活用と市民サービスの向上に取り組んでいる。

質疑等

(委員) 各地域公民館で開催している講座について、地区公民館でも参考にしたいので、その地域の分母の人数と講座の定員の人数を次回より資料に入れておいてほしい。また、各地域公民館で空気清浄機の導入をされているのか、導入の検討をされているのか教えてほしい。

(公民館) 現在、空気清浄機は導入していないが、講座の打ち合わせをする段階で講座中の換気の徹底などコロナ感染防止対策について確認している。

(公民館) 現在、各地域公民館に空気清浄機の配置はできていないが、各館においては、市のコロナに関する感染予防対策は徹底している。今年度は生涯学習の場づくりとして、できる限り講座等を休止することなく感染対策をしっかりと継続して取り組んでいきたいと考えている。講座については、できるだけ多世代の方に使っていただけるように各館が地域の実情を勘案し、講座の内容を工夫して決めている。各地域の分母の人数と講座の定員の人数についてであるが、各館で実施している講座については、基本的には各地域全体の人数を対象としているが、各講座で対象としている年齢層も違うため、分母の人数を出すことが難しい。また、受講者数や受講延人数は、「令和3年度 公民館活動のまとめ」に詳細に記載している。来年度以降の資料作成については本日いただいた意見を参考に検討していきたいと思う。

(委員) 今年度の事業としての午前中開館は、これまでの公民館活動と比べてかなり大きな変化であると思う。この事業を始めるにあたって目的や背景を教えてほしい。また、配布された資料の中で午前中開館について触れている地域公民館と触れていない地域公民館がある。各地域公民館が午前中開館について、どのように認識しているのかを知りたい。

(公民館) 午前中開館を始めた目的や背景は、市民サービスの充実、市民満足度の向上、建物の有効活用、防災機能の拠点として危機管理機能を向上させるために、これまで午前中開館を実施していた中央、三和、夜久野の地域公民館に合わせて

今年度より午前中開館をスタートさせた。全館が午前8時30分から開館することになったことに伴い、午前中の公民館利用の促進のため、午前中講座等も提案し進めている。

(委員) 各地域公民館からの活動方針の中で午前中開館について、現時点での課題や今後の展開等についてどのようにかんがえているのか。また、これまでは高齢者を対象とした講座が多かったが、子育て世代を対象とした読み聞かせ講座等の講座を企画されておりとても画期的なことだと思う。今後も子育て支援の視点を持って取り組んでほしい。

(公民館) 午前中開館記念事業として、フレイル予防講座と子育て応援「親子おはなし会」を実施した。利用者からは午前中から活動することで午後の時間が自由に使えるようになったとの意見もあり、午後から午前に利用変更された同好会もある。今後も午前中開館を周知することで、多くの方に利用していただきたい。

(公民館) 午前中開館開始以降、利用人数は確実に増えている。一般講座も午前に実施することで一定効果があると思う。交流の場として、少しずつ充実していると感じている。

(委員) 地域づくりをする中でリーダーの育成についてどのような考えを持っておられるか聞かせてもらいたい。また、人権学習の取組の中で障害者教育についてどのような支援をしているのか講座があれば教えてほしい。

(公民館) 地域づくりという部分では、桃映地域は、庵我地区と大正地区があり、各地区の実態が違うので、それぞれのニーズにあったものというところが大きいと思う。地域の担い手づくりやリーダーづくりという部分については、例えば大正地区では地区公民館と協力をしながら、地域の人材発掘作業から公民館のまちづくりを進めていくことになる。庵我地区なら、庵我地区のまちづくり住民委員会と協力しながら進めていくことになり、地域公民館が単独でリーダーづくりを決定することはできないが、それぞれの地域の方とともに連携しながら進めていくことになる。

(公民館) 大江の各地区公民館は、以前6館あったが、現在は3館となっている。各地域の担い手育成の必要性を感じているが、各地区の抱えている課題がそれぞれ違うため、各地区の代表の方と地区の実状に合わせた勉強会についてどのように進めていけばよいかを相談しながら実施していきたいと考えている。また、8月22日に障害者理解の講座を予定している。障害のある方にも来ていただいて一

緒に楽しい時間を過ごせるような講座にしていきたいと考えている。

(公民館) リーダーの育成については、まず受講する受け身の立場であった方が今度は主催者として何かできるようにということに配慮することが大切である。例えば、夜久野地域公民館では、ふるさと料理研究会さんに男性料理教室を指導していただいている。ふるさと料理研究会さんは、元々ふるさと料理教室に参加されていた方々が自分達でサークルを作られた。また、男の料理教室に来ていただいている方は夜久野学園の5、6年生の児童と一緒に調理実習をされている。それまでは習う側だったのが、立ち位置を変えることで、自分達で進めていくという立場に変わっていかれたことを目の当たりすることがあった。また、会議進行のスキルアップのためにファシリテーションの講座を企画し、聞くだけの講座ではなくワークショップのように話す機会をたくさん作ったり、自分が会議を進められる立場を体験してもらおうような機会を作っていくことが大切であると思っている。

(公民館) この審議会は市民の皆さんの生きがいつくり、生涯学習の場、各地域の元気づくりを今後どうしていくかを考えていく場である。公民館がもっと成長していくために本日出席いただいている団体からたくさんのサポートやご意見を伺いながら、色々と連携し運営していきたいと思っている。

(委員) 以前にベルマークの協力依頼をお願いして快く受けていただき、ある程度の成果をおさめることができた。感謝申し上げたい。今後も公民館には地域づくりの要としてお世話になりたい。

○閉会 副委員長挨拶